

射初め（いぞめ）は、年頭に当たり初めて弓を射る時に行われます。“現代弓道小事典”によれば、この射初めは室町時代には盛んに行われていたが、その後、途絶えたのを徳川八代将軍吉宗に至って古式を吟味し、扈從（こじゅう）の者に射させてご覧になったことが、近代の再興のもとになったと記されています。

各道場では特色のある射初めを行っていることと思いますが、平塚弓道協会の射初めは写真のとおり、安土に種々の的を置きこれを射て愉しみました。



2018-1-6 平塚総合体育館 弓道場